

*toeic 2024

Report on
Test Takers
Worldwide

Listening
&
Reading
TEST



目次

TOEIC®バックグラウンドアンケート	2
2024 年 TOEIC® Listening & Reading 受験者の特徴	3
TOEIC® L&R の国・地域別平均スコア	4
TOEIC® L&R リスニングとリーディングのスコアの関係	6
カテゴリー別集計	6
年齢	12
性別	13
学歴	14
専攻科目	15
就業状況	16
業種	17
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語技能	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Listening & Reading Test の受験経験	27
TOEIC® Listening & Reading Test の受験目的	28
資料 A TOEIC®バックグラウンドアンケート	29
資料 B 各設問の回答率	31
資料 C 地域別リスニングおよびリーディングスコアの相関	32

TOEIC®バックグラウンドアンケート

TOEIC®バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Listening & Reading Test（以下、TOEIC® L&R）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、TOEIC® L&R 受験経験についての情報を収集する自己記入式調査です。スコア分析者は、アンケートへの回答から受験者のバックグラウンドや、TOEIC® L&R のスコアと英語能力の向上に影響する要因を確認することができます。受験者は TOEIC® L&R を受ける前に、TOEIC®バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC®バックグラウンドアンケートの設問は資料 A を参照してください。

本報告書は、2024 年に世界において全受験者が回答した TOEIC® L&R のバックグラウンドアンケート結果に基づいています。

アンケート回答者はアジア地域の割合が高く、他の地域の結果を正確に反映していない場合があります。また、質問によって回答率に幅がありますので、本データに基づいた推測を行う際にはご注意ください（本資料 31 ページ「資料 B」）。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100%を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 500 以上のものに限定しています。

2024 年 TOEIC® Listening & Reading 受験者の特徴

バックグラウンドアンケートは、2024 年に実施された TOEIC® L&R 公開テストおよび IP テスト（Institutional Program：団体特別受験制度）の全受験者を対象に実施しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 年齢層で最も多いのは 21～25 歳（44%）
- 性別は男性と女性が同じ割合（50%）
- 学歴（最終学歴または受験時在学）は 56% が大学卒または大学在学中
- 専攻で最も多いのは「工学」で 24%、「教養学」が 19%、「経営学」が 17%
- 57% が「全日制学生」、31% が「フルタイム勤務者」
- 就業者の業種は 7% が「電機」、12% が「その他サービス」
- 職種は 24% が「科学／技術職」、16% が「事務職」、14% が「マーケティング／販売」
- 76% が 6 年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、22% が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択、同じく 22% が「リスニング&スピーキング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、41% が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、32% が「リーディング」、21% が「リスニング」を選択
- 36% は英語でのやりとりに「時々」苦勞すると回答
- 6 ヶ月以上の英語圏滞在経験者はわずか 10%
- 英語圏滞在目的としては、29% が「旅行」、28% が「英語学習プログラムへの参加」と回答
- TOEIC® L&R の受験経験については、34% が「3 回以上」と回答
- 受験目的については、27% が「就職活動のため」、26% が「英語学習のため」、同じく 26% が「卒業に必要なため」と回答

TOEIC® L&R の国・地域別平均スコア

以下の図 1 は、地域別の TOEIC® L&R スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 1 には受験者の国・地域別の平均スコアを集計しています。

ただし、受験者が TOEIC® L&R を受験した国・地域は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、TOEIC® L&R の年間の総受験者数が 500 名以上の国・地域のみを掲載しています。

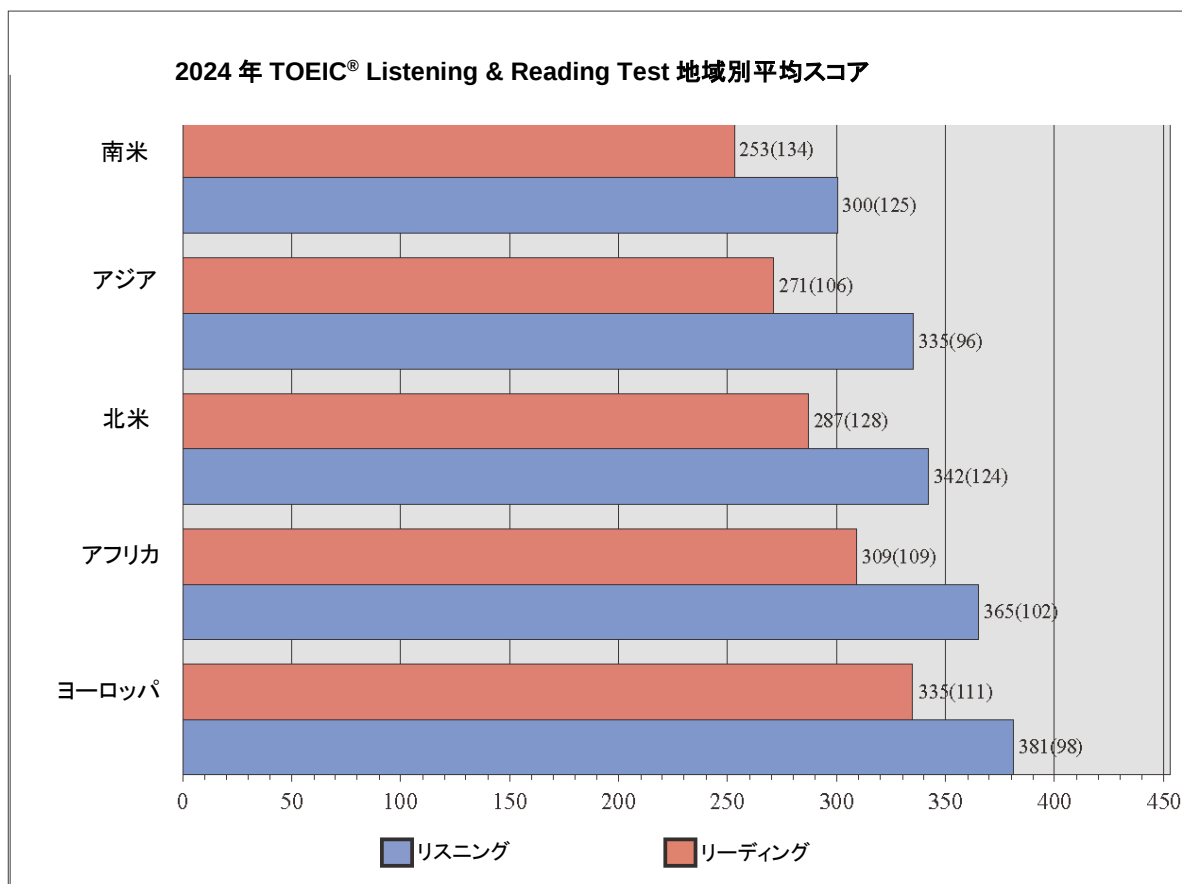


図 1: TOEIC L&R 地域別平均スコア

*注: 各チャートには受験者が 500 名以上の国・地域のみ掲載されています。メキシコは北米に含まれます。

表 1 : 国・地域別平均スコア

国・地域名	リスニング		リーディング		トータル	
	平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
アルバニア	294	(93)	239	(91)	533	(178)
アルジェリア	376	(96)	317	(106)	693	(196)
ベルギー	405	(89)	365	(98)	770	(181)
ベナン	316	(103)	277	(103)	593	(198)
ブラジル	285	(125)	235	(132)	520	(250)
カメルーン	323	(97)	267	(102)	590	(190)
チリ	348	(117)	301	(131)	649	(242)
中国	292	(99)	269	(102)	561	(192)
コロンビア	331	(112)	309	(111)	640	(216)
コンゴ共和国	275	(110)	228	(105)	503	(208)
コスタリカ	414	(88)	354	(103)	768	(184)
コートジボワール	311	(109)	264	(112)	575	(215)
エルサルバドル	327	(101)	262	(109)	589	(203)
フランス	381	(98)	334	(112)	715	(205)
ドイツ	437	(73)	374	(103)	811	(170)
ギリシャ	347	(85)	278	(88)	625	(164)
香港	312	(110)	236	(118)	547	(221)
インド	421	(67)	351	(91)	772	(150)
インドネシア	271	(110)	196	(103)	468	(205)
イタリア	406	(89)	362	(101)	768	(182)
日本	311	(91)	253	(99)	564	(182)
韓国	375	(82)	303	(103)	678	(177)
レバノン	450	(57)	403	(75)	853	(126)
マダガスカル	364	(95)	313	(103)	677	(192)
マレーシア	370	(89)	298	(109)	668	(192)
メキシコ	316	(126)	264	(129)	580	(250)
モンゴル	294	(96)	211	(105)	505	(193)
モロッコ	391	(89)	328	(103)	719	(186)
ミャンマー	322	(102)	258	(115)	580	(211)
ペルー	380	(91)	344	(96)	724	(180)
フィリピン	393	(75)	326	(93)	719	(160)
ポーランド	413	(82)	372	(96)	785	(169)
レユニオン	336	(116)	280	(121)	615	(232)
セネガル	315	(108)	268	(107)	583	(208)
スペイン	385	(88)	349	(98)	734	(179)
台湾	315	(104)	266	(110)	581	(207)
タイ	316	(105)	230	(106)	546	(204)
チュニジア	407	(82)	358	(93)	765	(169)
ベトナム	316	(92)	254	(99)	570	(184)

*SD=標準偏差

TOEIC® L&R リスニングとリーディングのスコアの関係

TOEIC® L&R のリスニングセクションとリーディングセクションのスコア間の相関値は約 0.85 でした（本資料 32 ページ「資料 C」に、地域別のリスニングとリーディングの相関値を掲載）。これは過去の研究結果と『2023 Report on Test Takers Worldwide』で示された知見と一致しています。

それぞれのテストがビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定し、同時に受験者がどちらも均等に学習していると仮定すると、この相関値は双方の関連性が高いことを示しています。

カテゴリー別集計

表 2 は、各受験者層の人数割合（%）と TOEIC® L&R およびトータルの平均スコアを示しています。

各カテゴリーの受験者の詳細な情報は本報告書の後半に示されています。本報告書で使用するカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : カテゴリー別平均スコア

		受験者 割合 (%)	リスニング 平均 (SD)*	リーディング 平均 (SD)*	トータル 平均 (SD)*
年齢	26～30 歳	14.6	365 (89)	301 (103)	666 (184)
	31～35 歳	7.2	356 (93)	298 (105)	654 (191)
	21～25 歳	43.8	345 (94)	280 (105)	625 (191)
	36～40 歳	4.4	341 (96)	284 (106)	625 (194)
	46 歳以上	5.1	333 (97)	284 (105)	617 (194)
	41～45 歳	3.3	333 (97)	279 (105)	612 (194)
	20 歳以下	21.6	299 (100)	232 (106)	531 (197)
性別	女性	50.3	346 (95)	278 (107)	624 (194)
	男性	49.7	329 (99)	271 (108)	600 (199)
学歴	大学院	12.2	365 (88)	319 (99)	684 (180)
	大学	55.8	351 (89)	290 (101)	640 (182)
	高校	8.0	311 (103)	248 (112)	559 (208)
	小学校	0.5	285 (111)	215 (112)	500 (215)
	中学校	0.8	288 (110)	211 (109)	499 (211)
	語学学校	0.9	289 (103)	207 (104)	496 (199)
	短大	14.0	280 (90)	214 (91)	494 (172)
	専門学校	3.7	272 (104)	203 (101)	474 (198)
	高専	4.0	270 (95)	191 (90)	461 (177)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	リスニング 平均 (SD)*	リーディング 平均 (SD)*	トータル 平均 (SD)*
専攻科目	社会学	10.1	347 (93)	290 (105)	636 (190)
	医療関連	7.3	345 (94)	284 (107)	630 (194)
	教養学	19.1	347 (93)	281 (107)	628 (192)
	経営学	16.9	340 (98)	284 (108)	623 (198)
	科学	12.6	330 (93)	279 (102)	609 (187)
	工学	23.6	318 (95)	261 (104)	579 (191)
	その他	10.5	321 (103)	255 (111)	575 (206)
就業状況	非就業者	6.8	365 (89)	298 (104)	663 (185)
	パートタイム勤務者	5.6	336 (107)	276 (117)	612 (218)
	フルタイム勤務者	31.1	333 (97)	278 (106)	612 (196)
	全日制学生	56.5	324 (97)	262 (107)	585 (196)
業種	国際団体	0.2	392 (95)	343 (113)	735 (201)
	マスコミ	1.4	370 (90)	315 (104)	685 (187)
	公共事業（電気／ガス）	1.7	366 (86)	317 (97)	684 (175)
	教育機関（大学以上）	2.6	366 (102)	316 (115)	682 (211)
	教育機関（高校以下）	3.2	363 (99)	314 (109)	676 (201)
	保険	1.0	358 (83)	308 (93)	667 (168)
	金融	5.8	357 (91)	309 (102)	666 (186)
	医薬品	2.2	355 (86)	305 (96)	660 (174)
	その他	6.7	355 (98)	300 (110)	655 (201)
	商社	3.4	352 (90)	296 (101)	648 (184)
	通信	2.4	346 (88)	290 (100)	636 (180)
	不動産	0.9	346 (91)	288 (102)	634 (185)
	その他サービス	12.0	343 (91)	287 (102)	630 (186)
	医療	4.0	344 (91)	286 (104)	630 (187)
	政府／役所／公益団体	5.5	333 (98)	282 (108)	615 (200)
	アパレル	0.5	342 (93)	273 (107)	615 (192)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	リスニング 平均 (SD)*	リーディング 平均 (SD)*	トータル 平均 (SD)*
業種（続き）	小売／卸し	2.2	338 (96)	275 (105)	613 (194)
	運輸	3.3	338 (91)	272 (98)	610 (181)
	旅行	2.9	336 (101)	264 (108)	599 (200)
	軍隊／自衛隊	2.9	327 (108)	272 (117)	598 (218)
	食品	2.0	327 (101)	267 (109)	594 (203)
	建設	2.8	326 (100)	268 (107)	594 (200)
	化学	3.5	319 (94)	272 (100)	590 (185)
	石油	0.7	318 (106)	271 (111)	590 (211)
	ガラス	0.3	319 (95)	269 (101)	589 (188)
	その他製造	3.1	320 (103)	263 (111)	583 (206)
	農業	0.9	319 (105)	262 (111)	580 (209)
	金属	1.6	304 (98)	251 (104)	556 (195)
	機械	6.4	302 (96)	247 (102)	549 (192)
	電機	7.2	296 (99)	250 (103)	546 (195)
	自動車	5.7	302 (93)	242 (101)	544 (187)
	繊維	1.0	284 (104)	232 (107)	516 (204)
職種	教師／講師	6.3	363 (102)	313 (113)	676 (208)
	専門職	9.5	350 (90)	303 (101)	653 (184)
	事務職	16.0	353 (93)	296 (104)	650 (190)
	管理職	6.8	342 (104)	294 (112)	636 (209)
	サービス業	7.1	345 (99)	283 (108)	628 (198)
	マーケティング／販売	13.9	342 (91)	284 (100)	626 (183)
	科学／技術職	23.6	321 (92)	269 (101)	590 (186)
	その他	9.7	318 (110)	262 (118)	581 (221)
	技術者	7.0	307 (102)	253 (105)	559 (199)
英語学習期間	10 年超	46.0	370 (88)	314 (102)	683 (182)
	6 年超～10 年	30.3	317 (92)	257 (100)	573 (184)
	4 年超～6 年	12.0	296 (95)	231 (99)	527 (186)
	4 年以下	11.7	280 (96)	213 (98)	493 (186)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	リスニング 平均 (SD)*	リーディング 平均 (SD)*	トータル 平均 (SD)*
最も重視する言語技能	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	22.1	365 (96)	309 (110)	675 (199)
	リーディング&ライティング	5.5	336 (100)	283 (111)	619 (204)
	スピーキング	15.5	339 (95)	274 (106)	613 (193)
	リスニング&スピーキング	22.2	337 (94)	269 (106)	606 (192)
	ライティング	1.8	312 (108)	257 (116)	569 (217)
	リーディング	19.0	307 (92)	259 (100)	566 (183)
	リスニング	14.0	314 (96)	249 (103)	562 (191)
日常生活での 英語使用率	51～100%	5.2	397 (87)	338 (107)	735 (187)
	21～50%	14.2	369 (91)	306 (108)	675 (191)
	11～20%	21.7	347 (94)	286 (107)	633 (194)
	1～10%	40.5	323 (95)	264 (104)	586 (191)
	なし	18.4	299 (94)	243 (100)	541 (186)
最も使用する英語技能	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	10.1	377 (92)	317 (110)	694 (195)
	リーディング&ライティング	6.8	358 (94)	304 (108)	662 (194)
	リスニング&スピーキング	15.7	341 (94)	271 (106)	611 (192)
	リーディング	32.0	326 (94)	277 (103)	602 (189)
	リスニング	20.6	324 (99)	259 (107)	583 (199)
	ライティング	2.6	316 (104)	259 (110)	575 (207)
	スピーキング	12.3	318 (99)	250 (106)	568 (197)
英語でのコミュニケー ションに苦勞する頻度	あまりない	22.1	344 (98)	287 (109)	631 (200)
	時々	36.1	346 (93)	285 (105)	630 (189)
	頻繁にある	17.4	328 (90)	265 (102)	593 (183)
	ほとんどない	15.6	323 (105)	269 (114)	593 (213)
	ほぼ常時	8.8	294 (98)	230 (104)	524 (193)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	リスニング 平均 (SD)*	リーディング 平均 (SD)*	トータル 平均 (SD)*
英語圏滞在期間	2 年超	3.5	419 (80)	361 (101)	780 (174)
	1 年～2 年	2.3	394 (91)	331 (107)	725 (191)
	6 ヶ月～12 ヶ月	4.2	386 (88)	320 (105)	705 (185)
	6 ヶ月未満	19.7	351 (87)	289 (101)	640 (181)
	なし	70.3	320 (97)	262 (106)	582 (195)
英語圏滞在目的	その他	7.7	388 (94)	323 (110)	711 (196)
	進学のため	21.4	385 (94)	325 (111)	711 (199)
	仕事のため	14.1	368 (91)	312 (105)	680 (189)
	英語学習プログラム参加のため	27.8	367 (83)	299 (99)	666 (173)
	旅行のため	29.0	349 (88)	288 (102)	637 (182)
TOEIC L&R 受験回数	3 回以上	33.5	359 (84)	296 (97)	655 (172)
	2 回	12.1	336 (92)	275 (103)	610 (186)
	1 回	20.4	325 (96)	265 (107)	590 (195)
	なし	34.0	315 (104)	259 (113)	573 (210)
TOEIC L&R 受験目的	就職活動のため	27.0	351 (91)	284 (105)	635 (188)
	英語学習のため	25.5	336 (96)	277 (107)	613 (196)
	卒業に必要なため	26.2	324 (103)	265 (113)	590 (209)
	英語学習プログラムの結果を測るため	10.0	324 (101)	263 (108)	588 (202)
	昇進・昇格のため	11.3	315 (94)	256 (102)	571 (188)

*SD=標準偏差

年齢

どの国・地域でも TOEIC® L&R 受験者の年齢別割合は「21～25 歳」が最も高く（44%）、「20 歳以下」が 22%、「26～30 歳」が 15%、「31 歳以上」が 20%となっています。

「20 歳以下」の割合が高いのは、コロンビア（57%）とインドネシア（55%）です。

「21～25 歳」の割合が高いのは、モロッコ（77%）、「26～30 歳」の割合が高いのは、ミャンマー（35%）となっています。

図 2 は TOEIC® L&R の年齢別平均スコアを表しています。

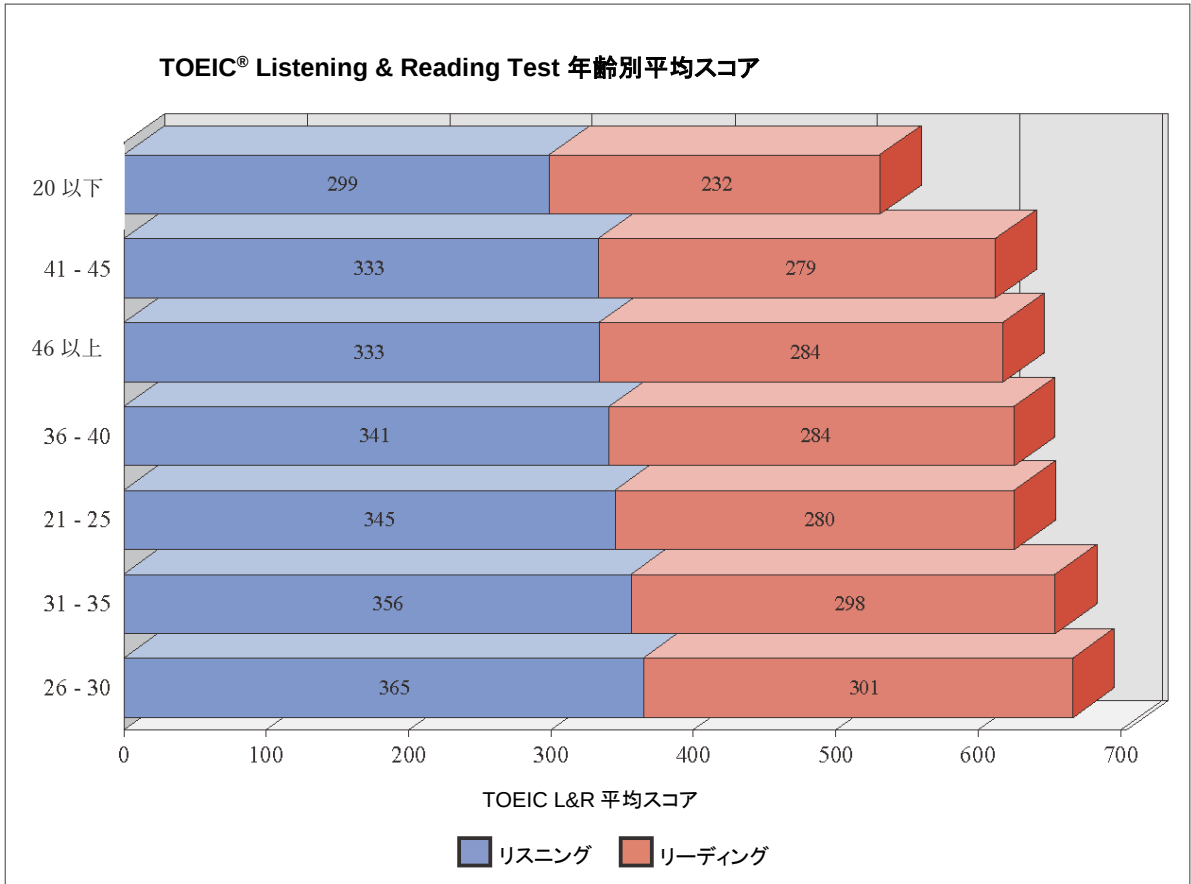


図 2： TOEIC L&R 年齢別平均スコア

性別

全体として、TOEIC® L&R の受験者は男性（50%）と女性（50%）がほぼ同じ割合となっています（本資料 7 ページ「表 2」参照）。

国・地域別で見ると、女性よりも男性の割合が高いのは、チリ（69%）とベナン（64%）です。一方、女性の割合が男性より高い国・地域も存在します。

男性よりも女性の割合の方が高いのは、エルサルバドル（68%）、ミャンマー（67%）、タイ（64%）などでした。

図 3 は、リスニングとリーディングの両方において男性より女性の平均スコアの方が高くなっていることを示しています。

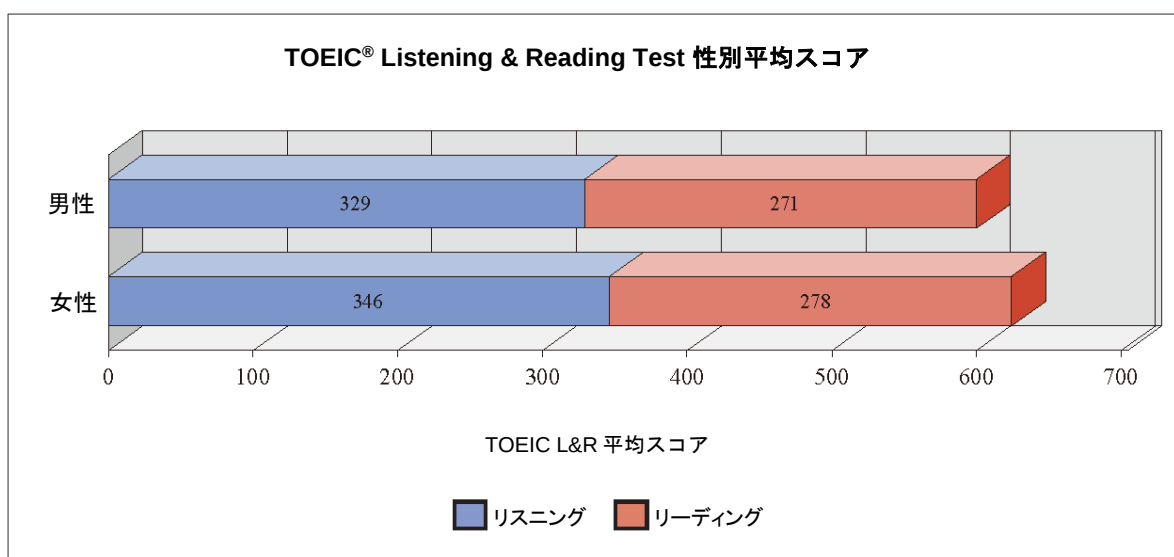


図 3： TOEIC L&R 性別平均スコア

学歴

受験者の半数以上（56%）は、バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が大学卒（学士取得）または大学在学中でした。男性（54%）よりも女性（58%）の方が大学卒または大学在学中の割合が高くなっています。一方、大学院卒または大学院在学中の割合については、女性（10%）よりも男性（14%）の方が高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に比較することはできません。

フィリピン（84%）、タイ（78%）、韓国（77%）においては大学卒または大学在学中の受験者の割合が高いことがわかります。モロッコ、ベナン、チュニジア（いずれも72%）では、大学院卒または大学院在学中の割合が最も高くなりました。チリ（28%）では専門学校卒（高校卒業後取得）の割合が最も高くなりました。

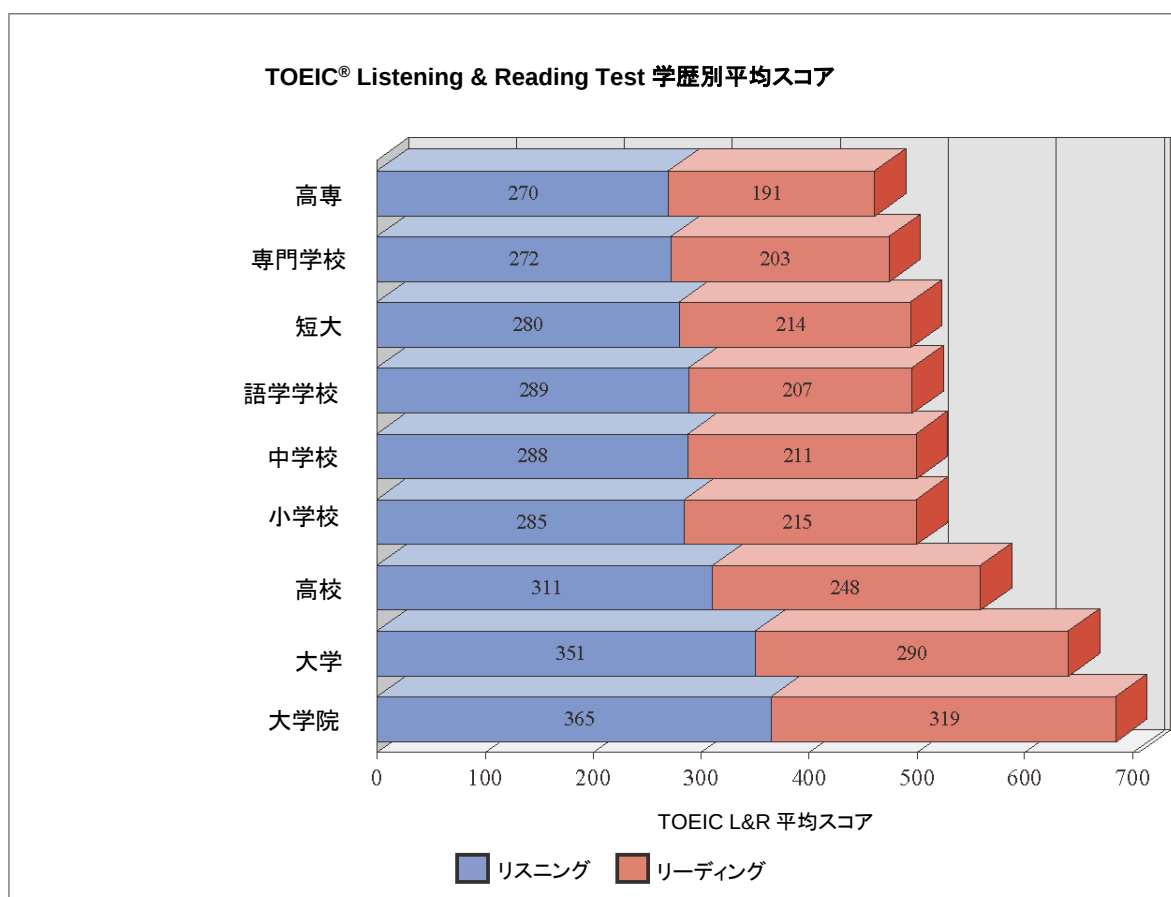


図 4： TOEIC L&R 学歴別平均スコア

専攻科目

受験者の専攻科目で最も多いのは「工学」(24%)でした。「工学」専攻の受験者が特に多いのは、カメルーン(58%)、ベナン(53%)、レバノン(52%)となっています。2番目に多い専攻科目は「教養学」(19%)、3番目に多いのは「経営学」(17%)でした。「教養学」専攻の受験者が最も多いのは、コスタリカ(39%)です。

「経営学」専攻の受験者が多いのは、アルバニア(56%)、ペルー(53%)、インド(47%)、イタリア(45%)などです。

各専攻科目が全体に占める割合を性別で比較すると、「教養学」専攻については男性(12%)よりも女性(27%)、「工学」専攻については女性(11%)よりも男性(34%)の方が高い結果となりました。

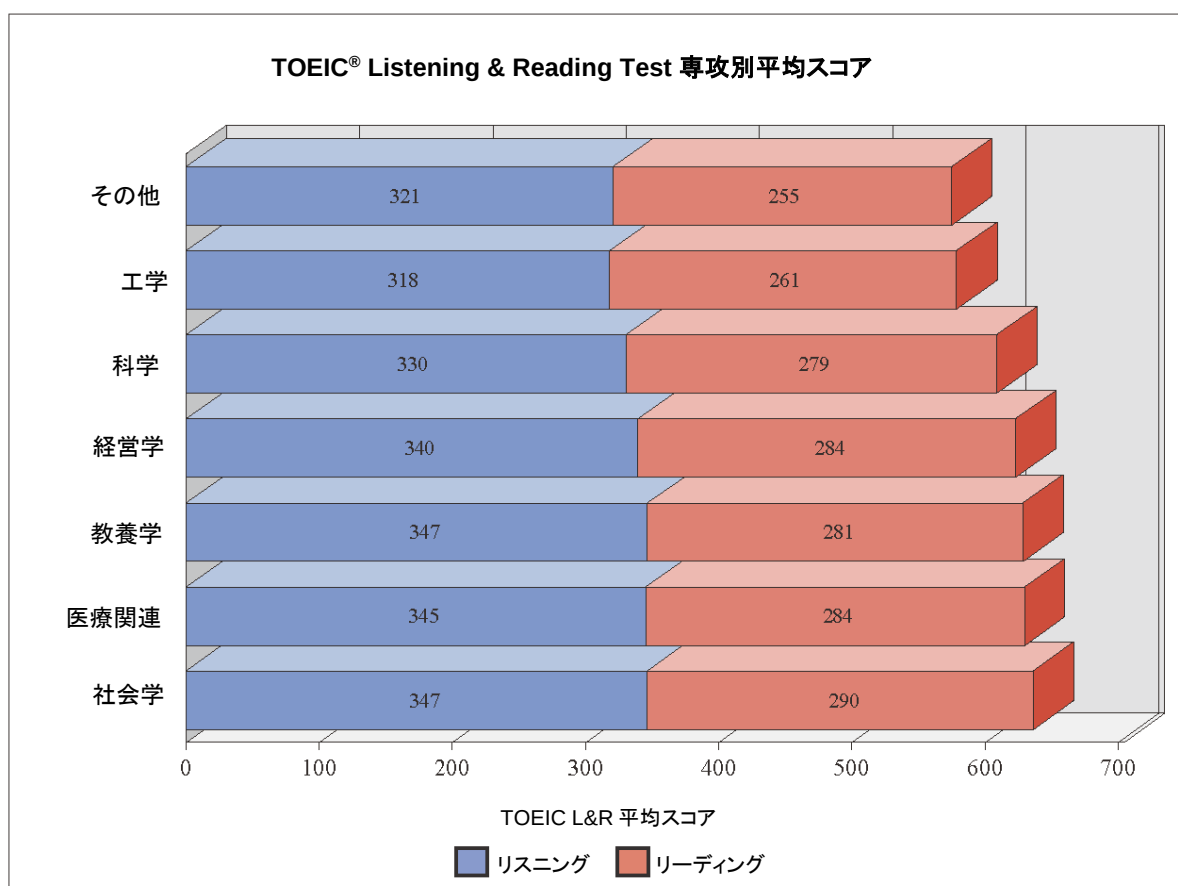


図 5： TOEIC L&R 専攻別平均スコア

就業状況

全体として、受験者の過半数は「全日制学生」（57%）でした。「全日制学生」の割合が高かったのは、フィリピン（85%）、ペルギー（81%）、カメルーン（79%）です。

また、受験者の 31%は「フルタイム勤務者」でした。

「フルタイム勤務者」の割合が特に高いのは、中国（71%）、モンゴル（60%）、ペルー（53%）、ドイツ（51%）となっています。

それぞれが占める割合を性別ごとに比較すると、「フルタイム勤務者」については女性（25%）よりも男性（36%）、「全日制学生」については男性（54%）よりも女性（60%）の方が高くなっています。

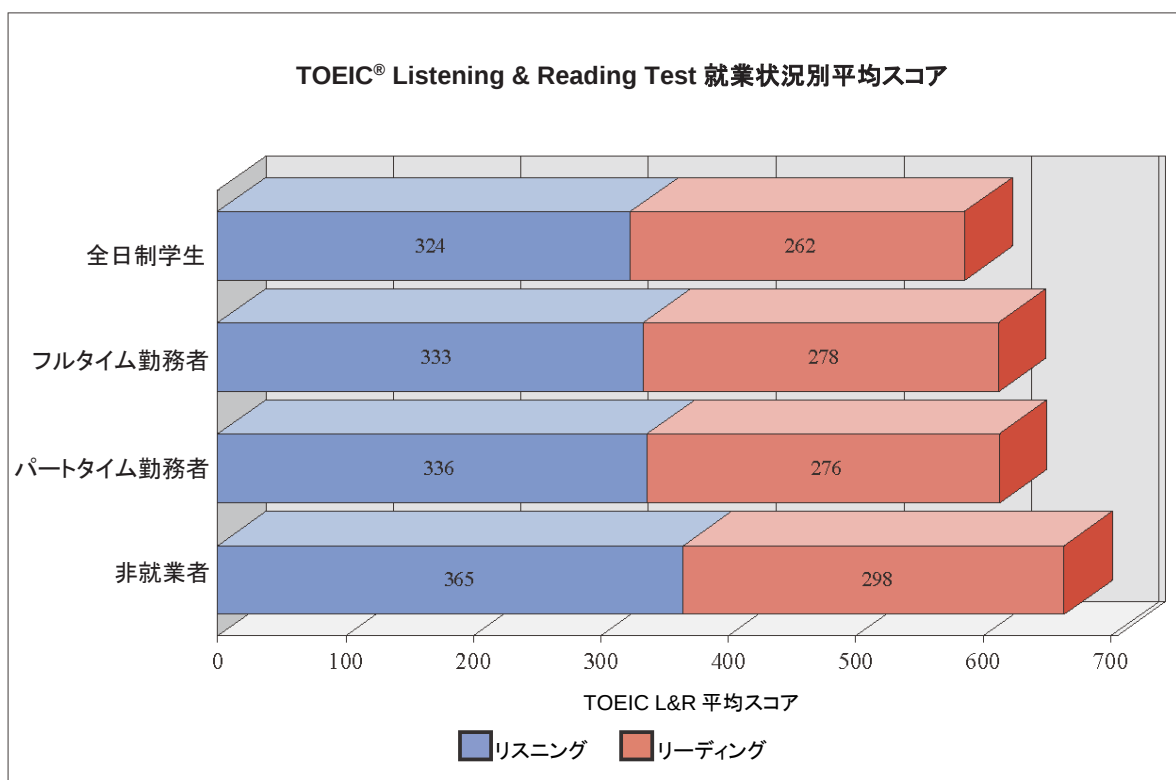


図 6： TOEIC L&R 就業状況別平均スコア

業種

本資料 8～9 ページ「表 2」に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 7a（サービス業）、図 7b（製造業）、図 7c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® L&R 平均スコアを業種別に示したものです。

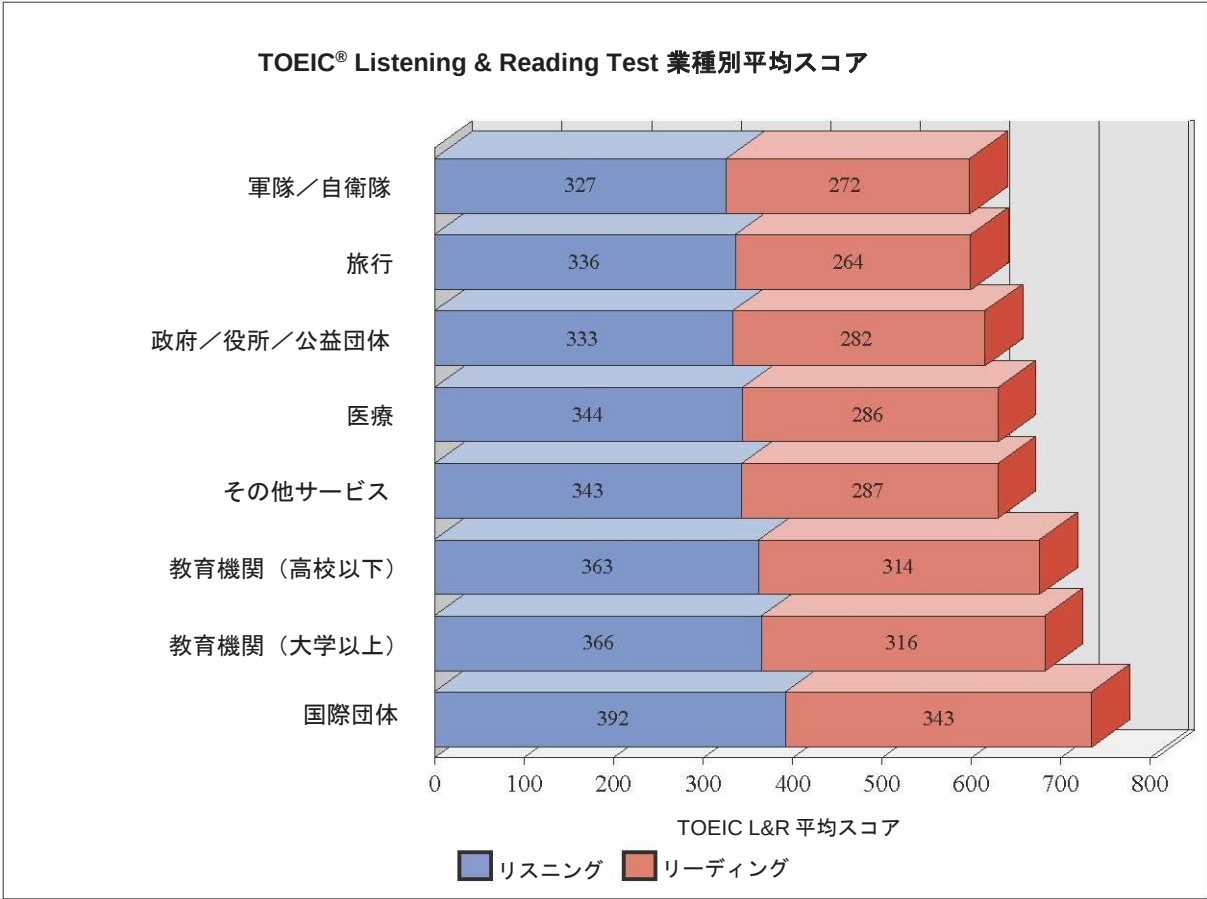


図 7a : TOEIC L&R 業種別平均スコア（サービス業）

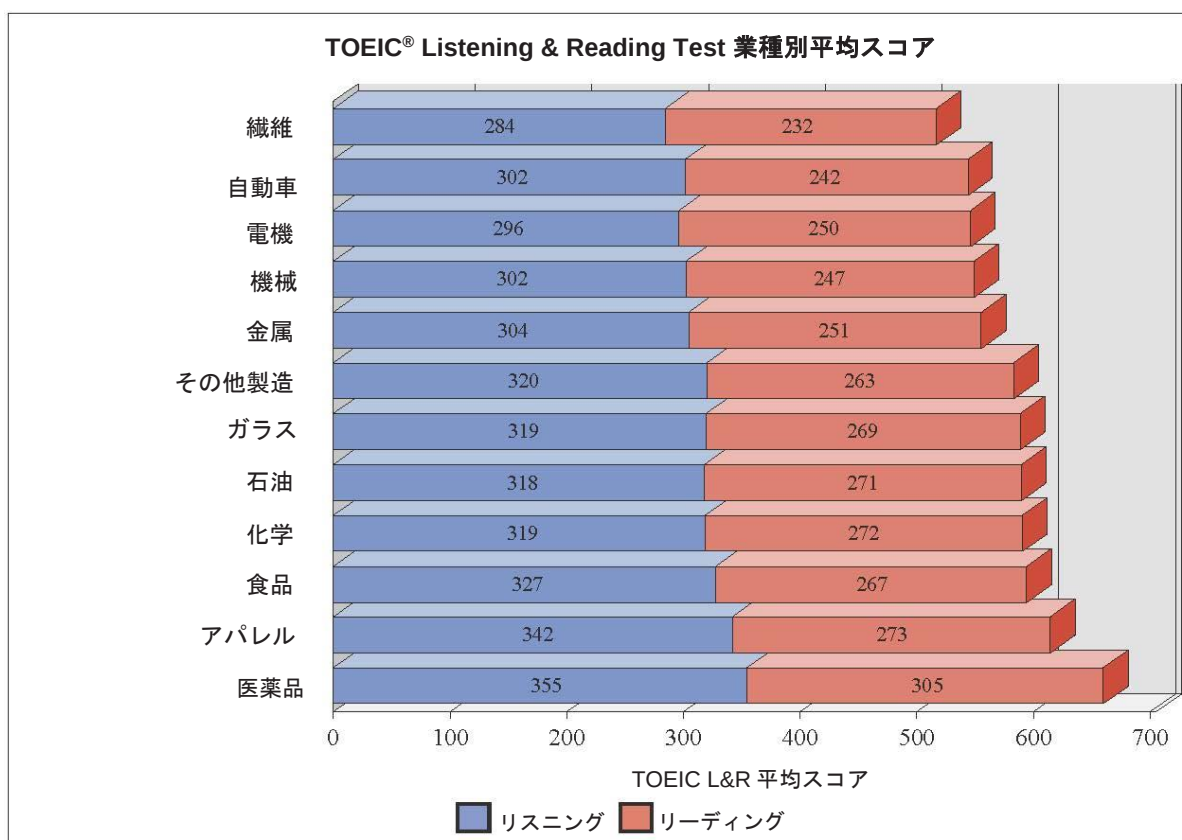


図 7b : TOEIC L&R 業種別平均スコア（製造業）

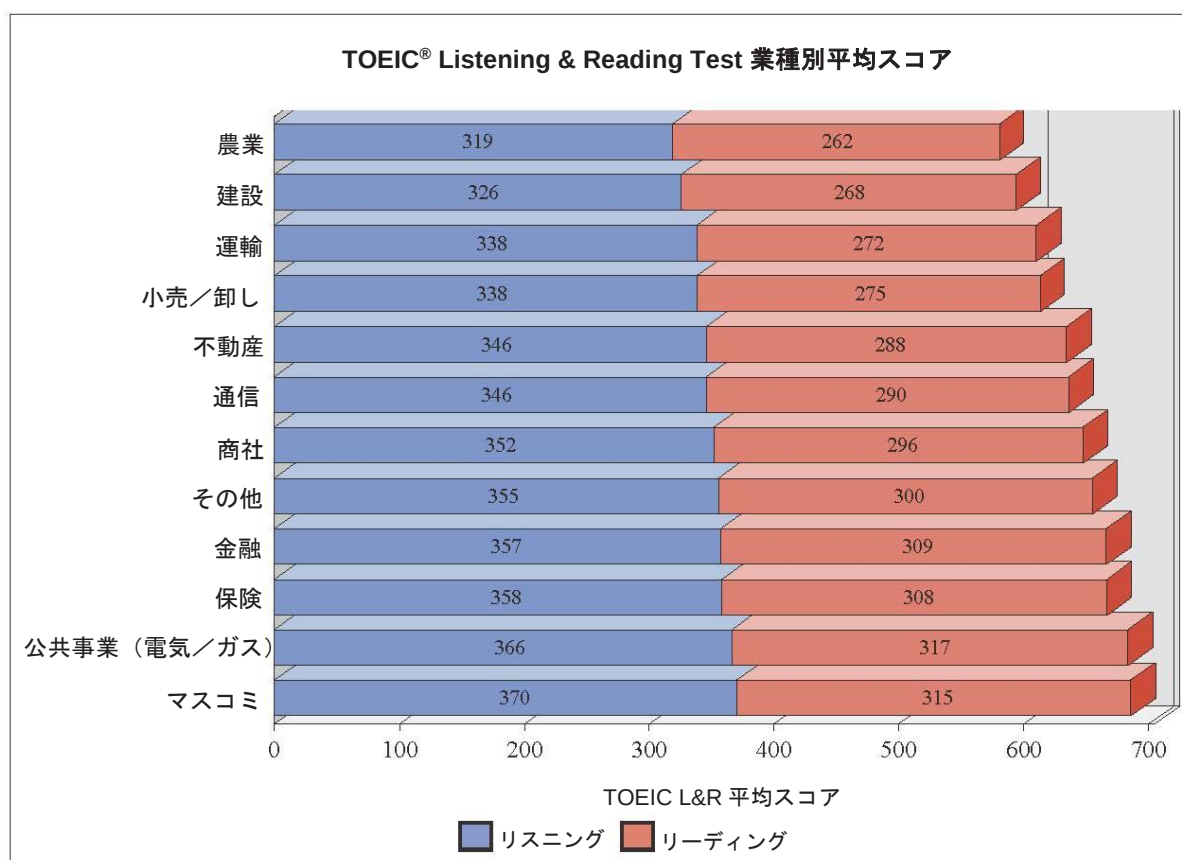


図 7c : TOEIC L&R 業種別平均スコア（その他）

職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。全体で最も多いのは「科学／技術職」（24％）でした。

セネガル（39％）とベナン（35％）では「科学／技術職」の受験者が特に高い割合を占めています。受験者のうち「管理職」が多いのはレバノン（23％）とギリシャ（22％）、

「教師／講師」が最も多いのはコスタリカ（57％）です。

各職種が全体に占める割合を性別ごとに比較すると、「教師／講師」については男性（4％）よりも女性（10％）、「事務職」についても男性（11％）よりも女性（24％）の方が高くなっています。「科学／技術職」の割合は、女性（12％）よりも男性（31％）の方が高い結果となりました。

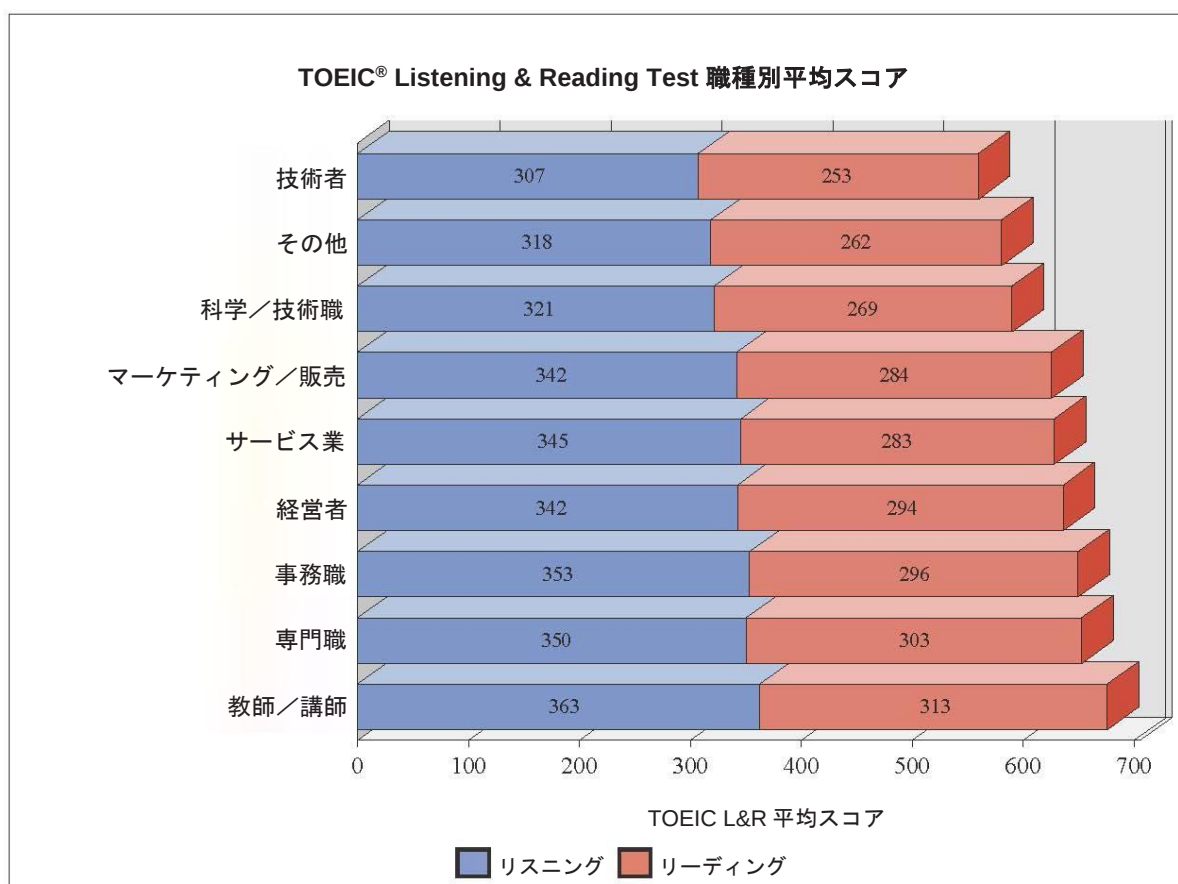


図 8： TOEIC L&R 職種別平均スコア

英語学習期間

英語学習期間に関する 2024 年の受験者の回答は、前年以前とほぼ同様の傾向でした。2024 年の受験者全体の 76% は、6 年を超える英語学習期間があると答えています。

ブラジルおよびエルサルバドル（いずれも 48%）、ペルー（46%）では、英語学習期間が「4 年以下」の受験者が特に高い割合を占めています。

一方、香港（73%）、インド（70%）マレーシア（68%）、韓国（67%）などでは、英語学習期間が「10 年超」の受験者の割合が高くなっています。

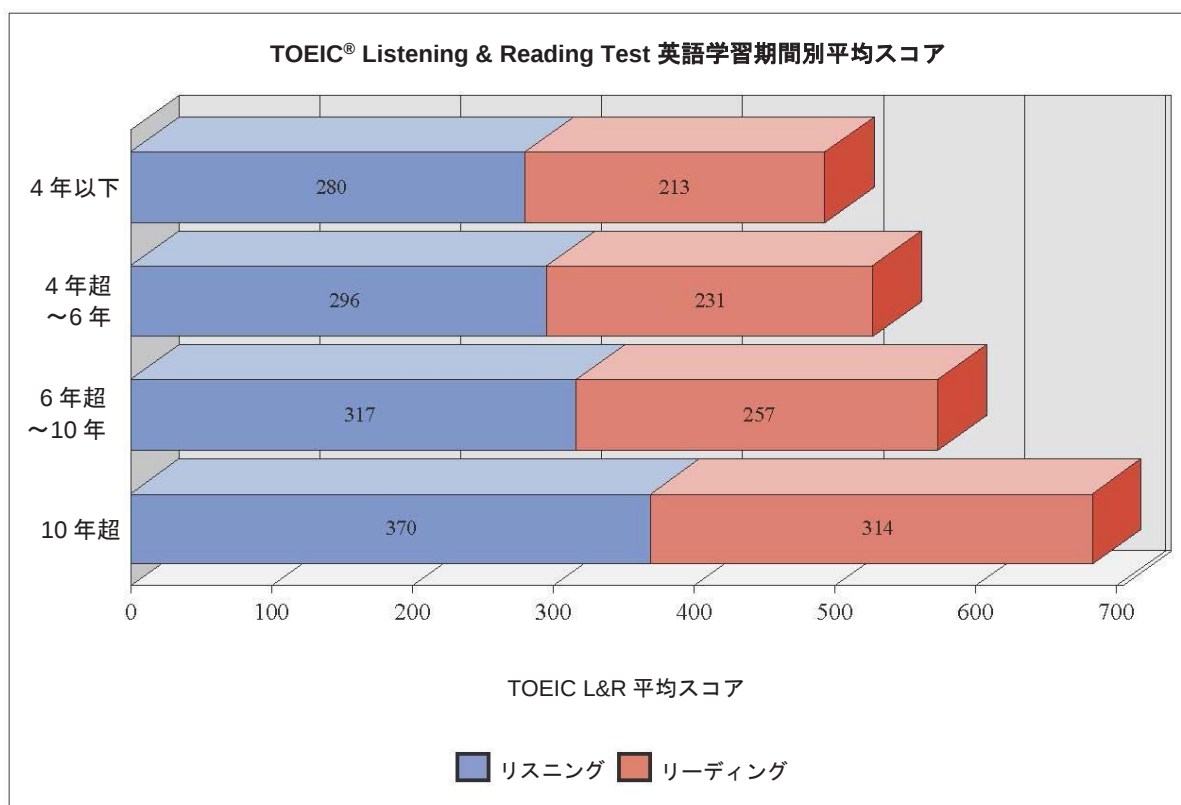


図 9： TOEIC L&R 英語学習期間別平均スコア

英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の 22% は、英語の 4 技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答。

同じく 22% の受験者は「リスニング&スピーキング」を最も重視すると回答しました。

ギリシャ（63%）、インド（62%）、カメルーン（56%）では、4 技能すべてが重要であるという回答が特に高い割合を占めました。

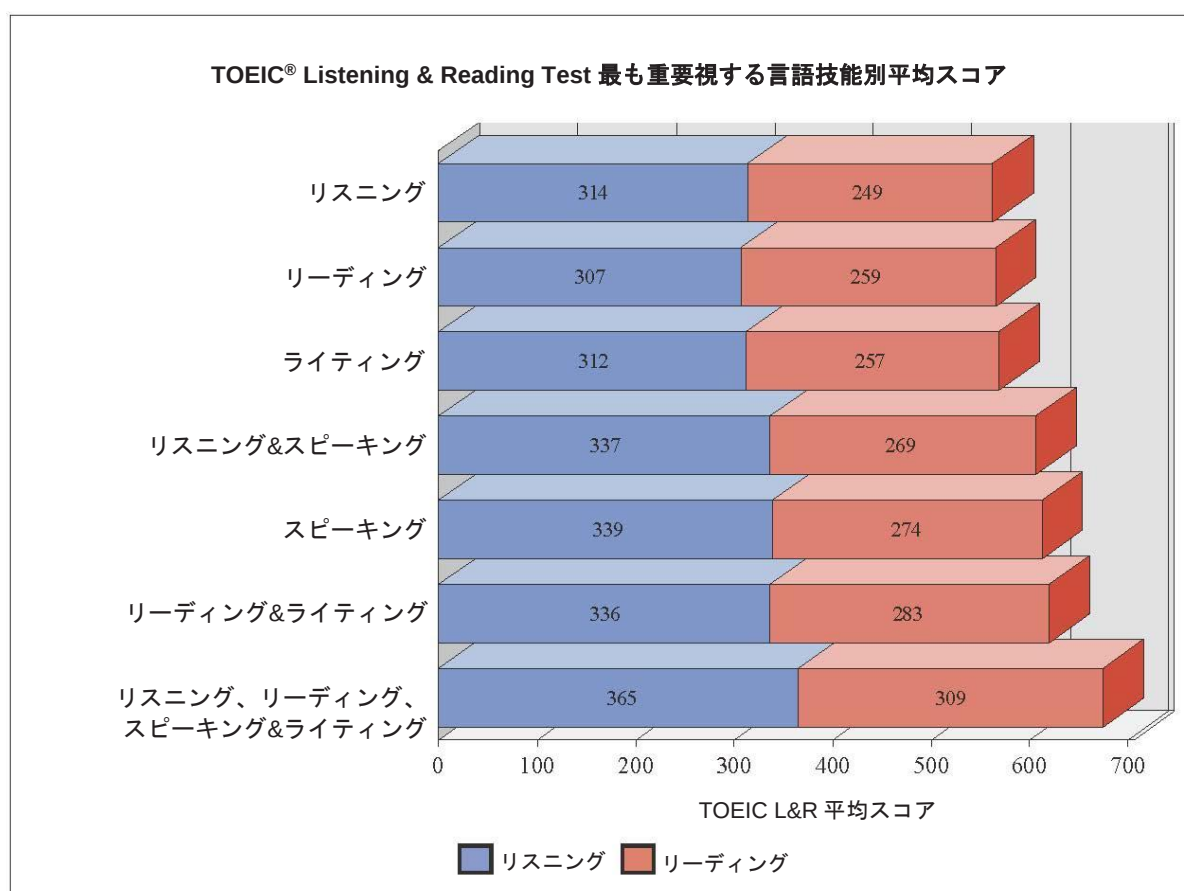


図 10 : TOEIC L&R 最も重要視する言語技能別平均スコア

日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、全体の41%が「1～10%」と回答しました。この回答は、日本（44%）、中国および台湾（いずれも43%）、韓国（39%）で特に多く挙げられています。。

モンゴル（34%）では「11～20%」、インド（55%）では「51～100%」の割合で日常的に英語を使用するとの回答が多く見られました。

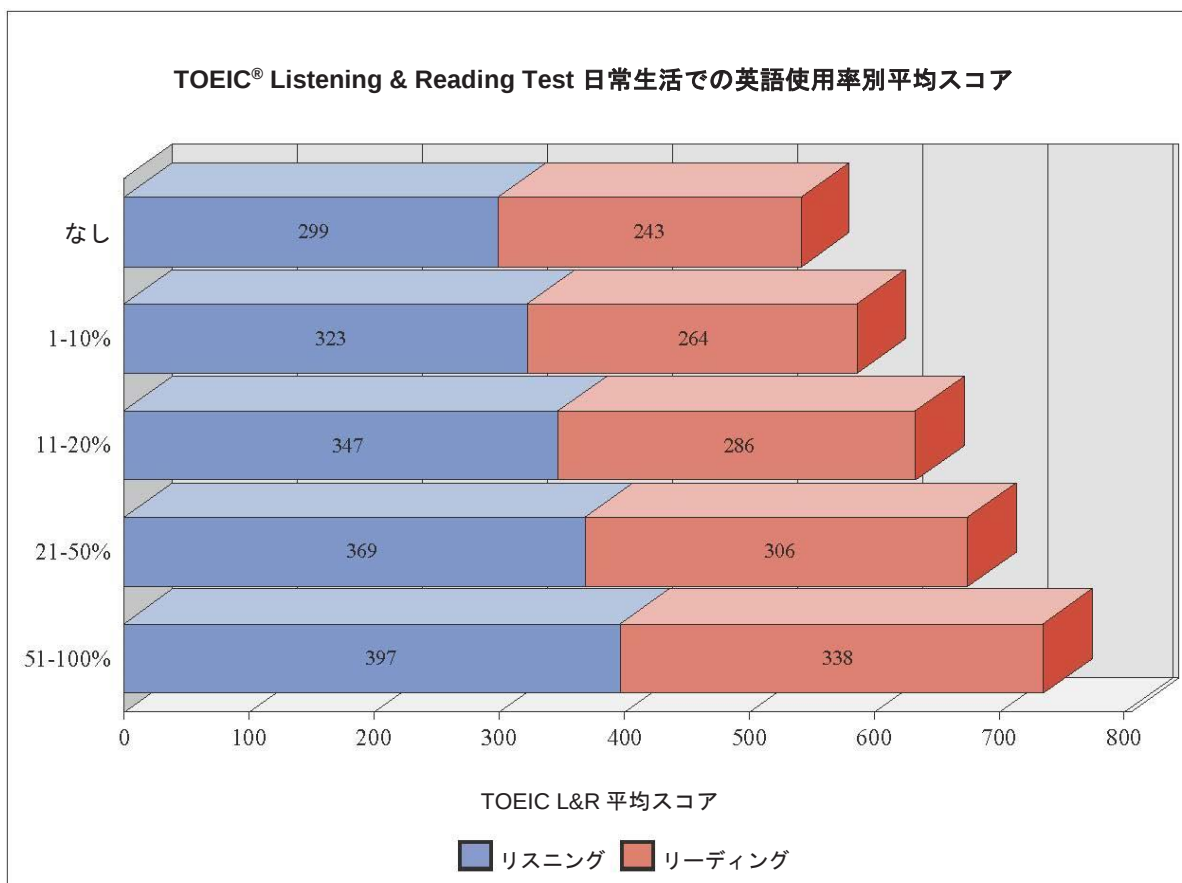


図 11 : TOEIC L&R 日常生活での英語使用率別平均スコア

最も使用する言語技能

受験者全体の 32% は、最も使用する英語技能として「リーディング」を挙げています。この回答は、台湾（42%）、中国およびペルー（いずれも 39%）、チリ

（38%）、日本（36%）で特に多く挙げられています。「リスニング」を最も使用すると回答した受験者の割合は全体の 21% を占め、国・地域別では、マダガスカル（37%）、レユニオンおよびフランス（いずれも 36%）などでその割合が高くなりました。

4 技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を同じくらい使用しているという回答の割合は、全体の 10% にとどまっています。

各回答が全体に占める割合を性別ごとに比較すると、女性より男性の方が「リーディング」を最も使用する技能に挙げる傾向が見られました（男性 36%、女性 28%）。

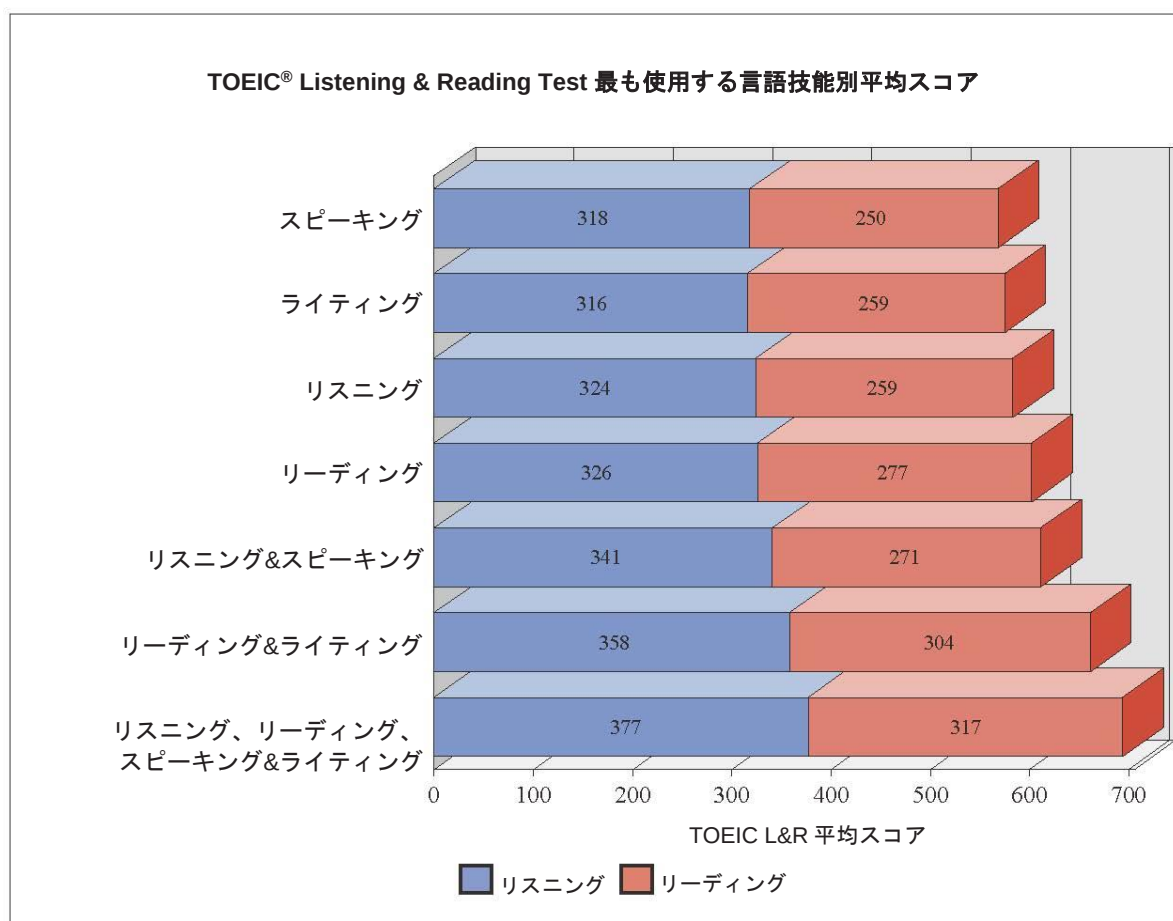


図 12 : TOEIC L&R 最も使用する英語技能別平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者の36%が「時々」、22%が「あまりない」、17%が「頻繁にある」と答えました。

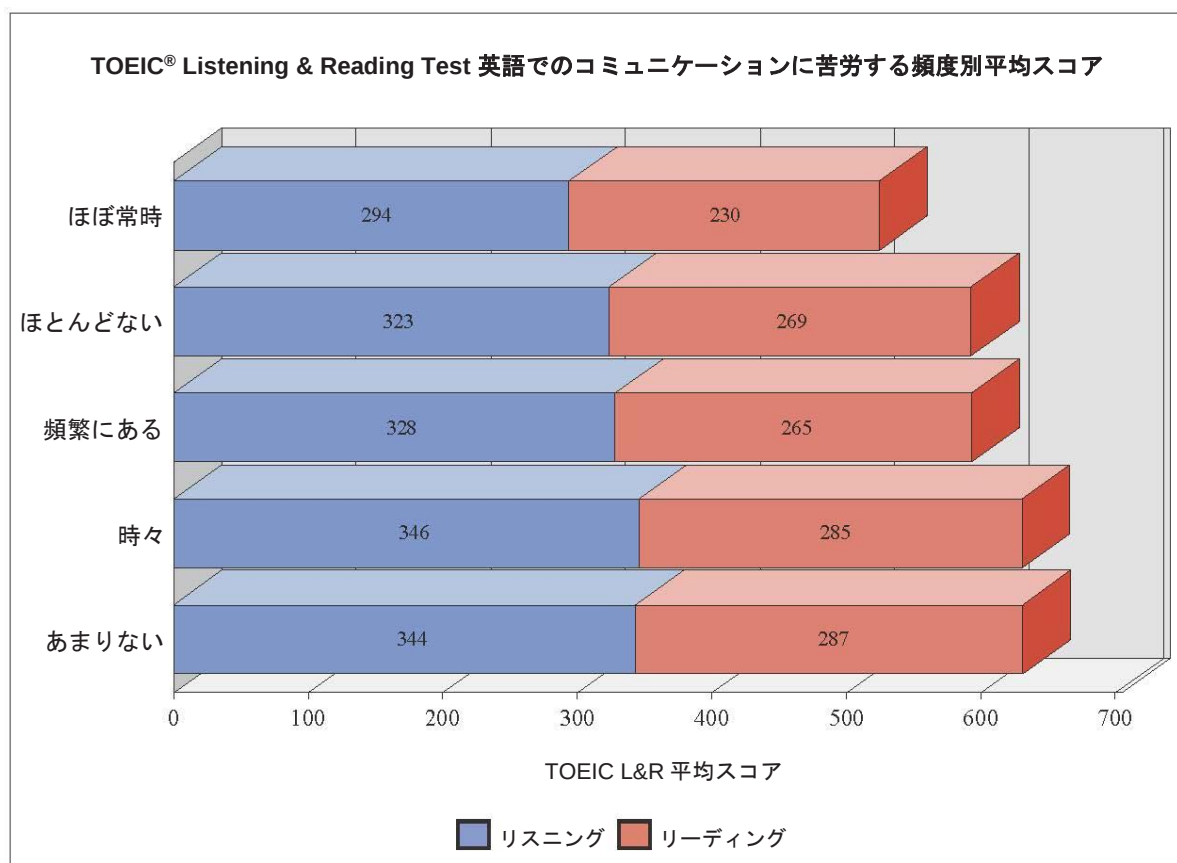


図 13 : TOEIC L&R 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度別平均スコア

英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6ヵ月以上の滞在経験があると回答した受験者は全体の10%にとどまりました。

英語圏に滞在した経験がまったくないと回答した受験者は70%にのびりました。

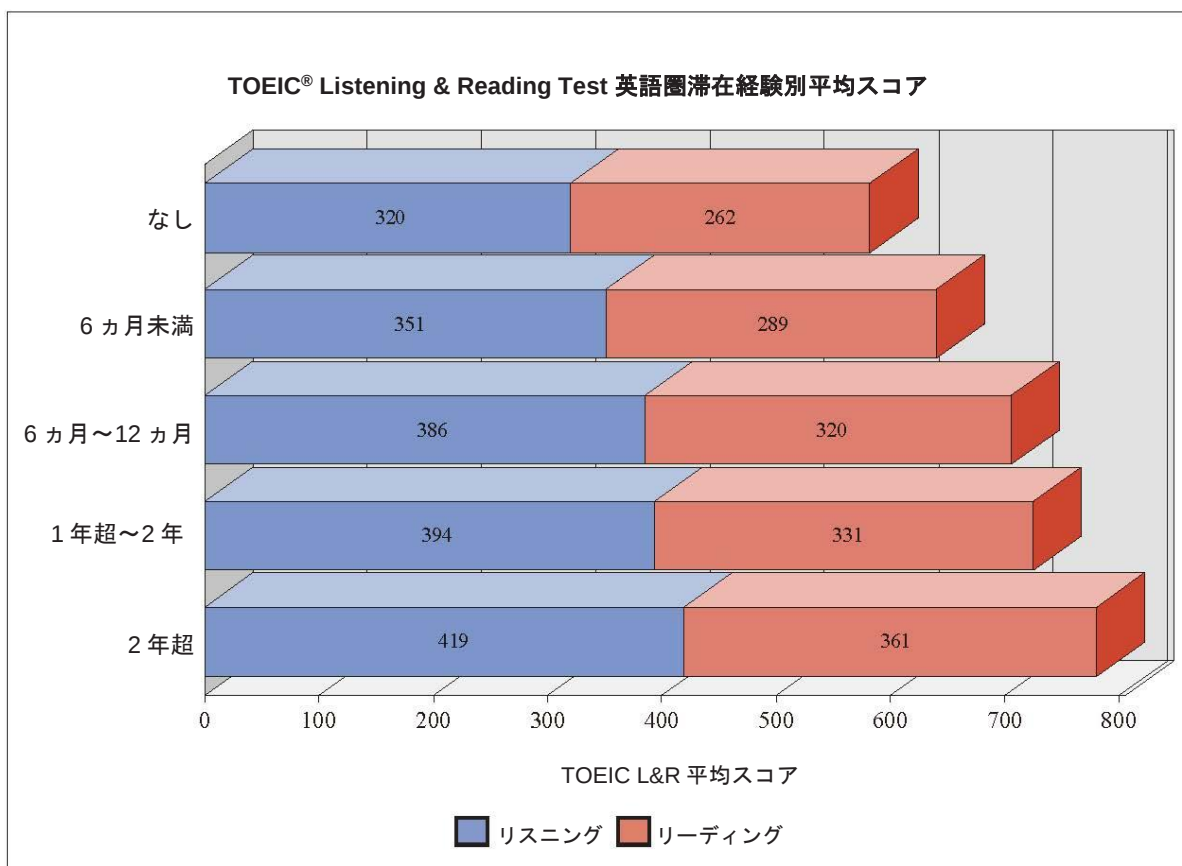


図 14 : TOEIC L&R 英語圏滞在経験別平均スコア

英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、29%の受験者が「旅行のため」と回答しました。また、28%が「英語学習プログラム参加のため」と回答しています。

各回答の割合を性別ごとに比較すると、「英語学習プログラム参加のため」については男性（21%）よりも女性（34%）、「仕事のため」については女性（8%）よりも男性（20%）の方が高い結果となりました。

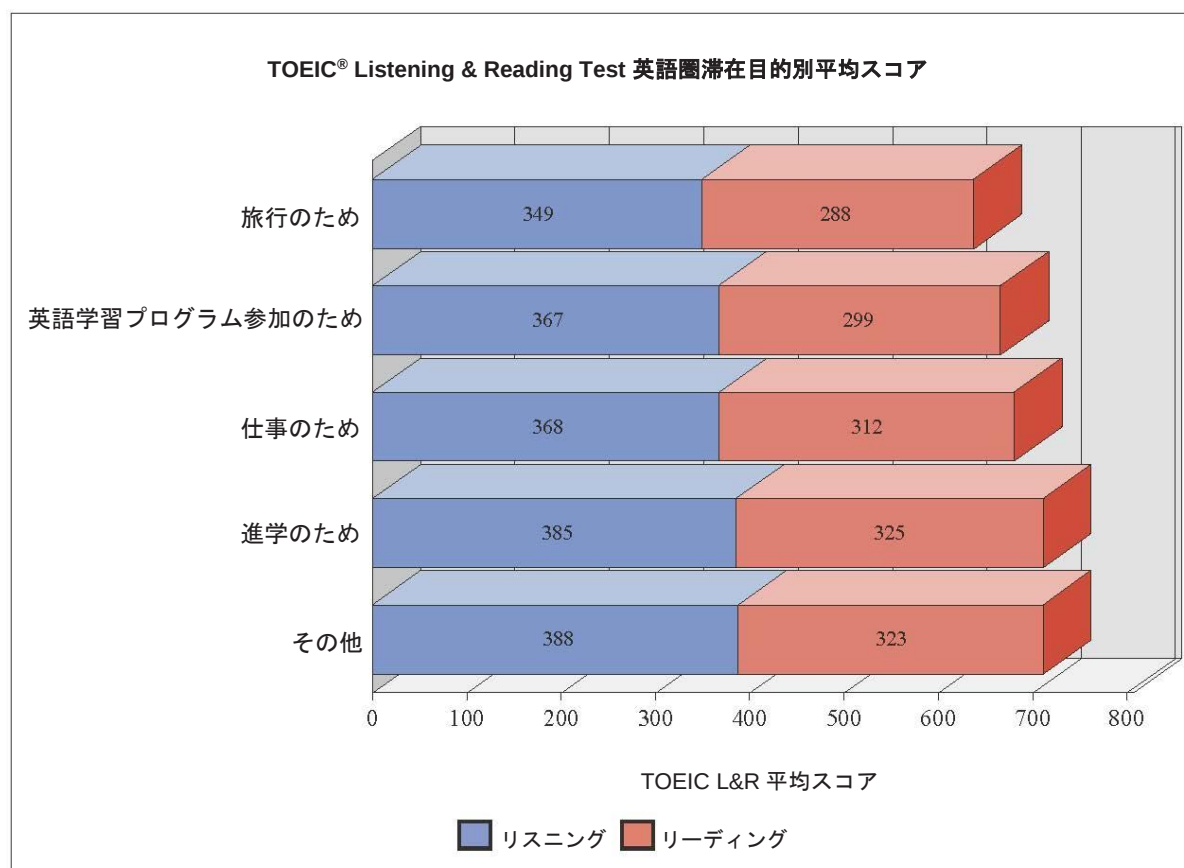


図 15 : TOEIC L&R 英語圏滞在目的別平均スコア

TOEIC® L&R の受験経験

過去に TOEIC® L&R を受験したことのある受験者の割合は、国・地域によって大きく差が出ています。受験経験者の割合が低い国・地域はポーランド（11%）、ベルギー（12%）、高い国・地域は日本（73%）、韓国（72%）となりました。

受験者の大半（66%）は、以前に TOEIC® L&R を受けたことがあると回答し、受験回数は「3 回以上」が最大の割合（34%）を占めています。

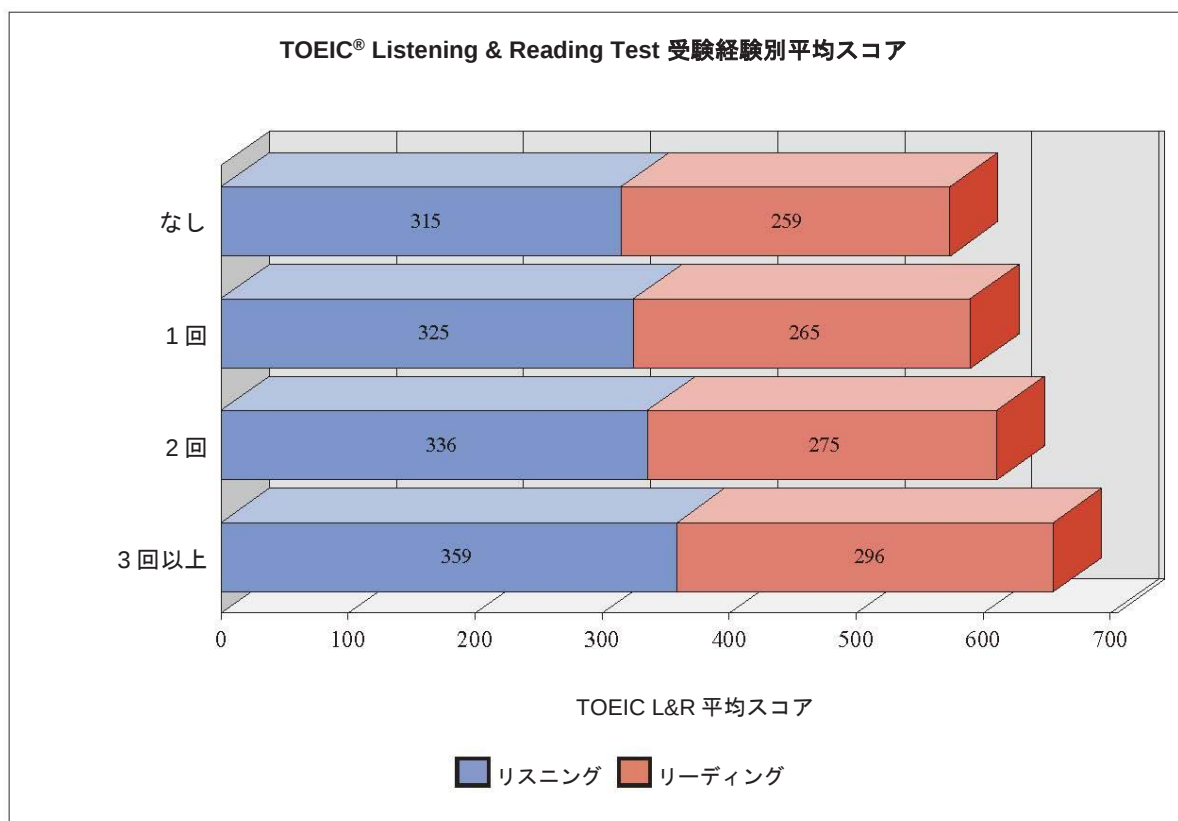


図 16 : TOEIC L&R 受験経験別平均スコア

TOEIC® L&R の受験目的

TOEIC® L&R の受験目的として最も多かった回答は、「就職活動のため」(27%)で、それに「英語学習のため」および「卒業に必要なため」(いずれも 26%)が続いています。

モンゴル(59%)、タイ(54%)、コスタリカ(46%)、韓国(41%)では「就職活動のため」という回答が多く見られました。

「英語学習のため」という回答が多かったのは、ミャンマー(43%)、香港(33%)、日本(32%)でした。

「卒業に必要なため」という回答が特に多いのは、ベナン(83%)、カメルーン(82%)、ベルギー(81%)、モロッコ(80%)でした。

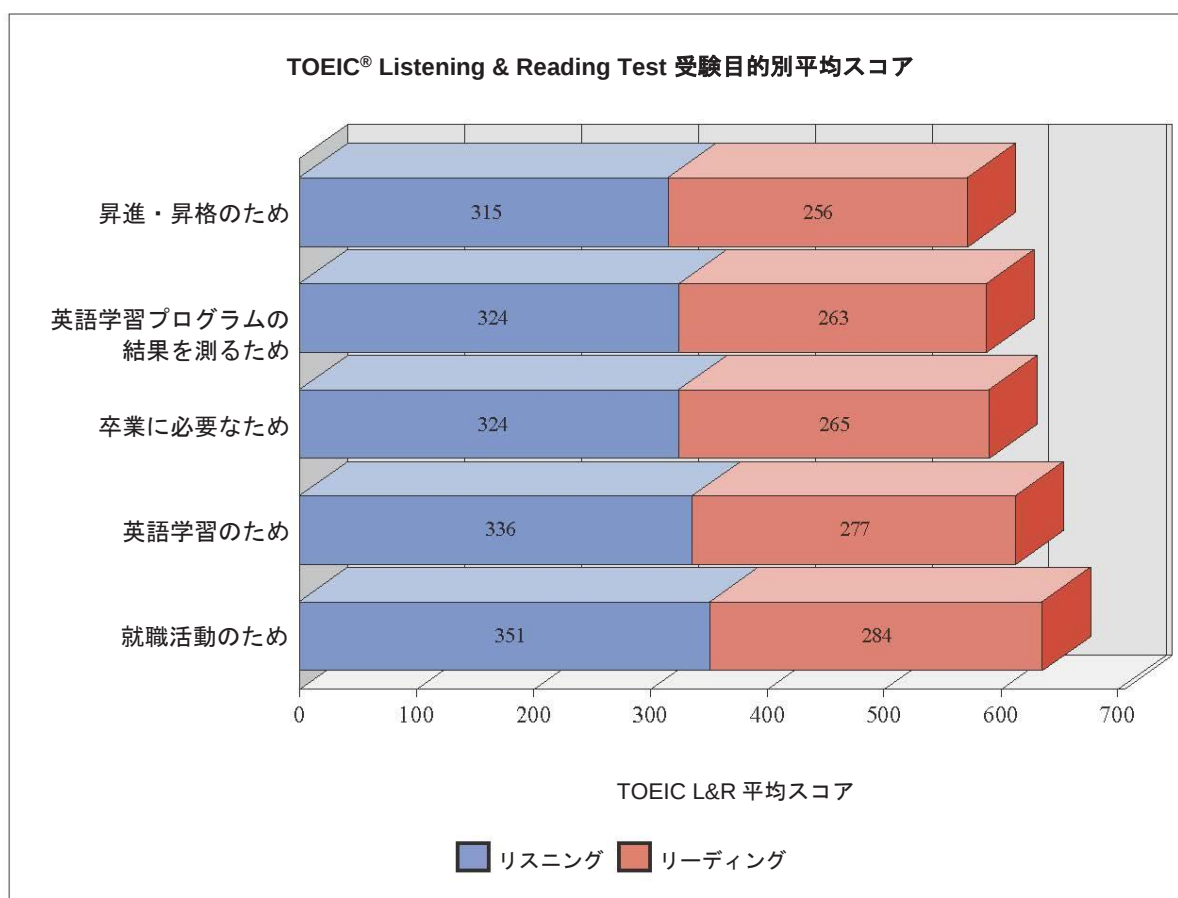


図 17 : TOEIC L&R 受験目的別平均スコア

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクションI

学歴／職歴

1. 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - A. 小学校
 - B. 中学校
 - C. 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル (高校)
 - D. 専門学校／高専
 - E. 専門学校／高専 (高校卒業後)
 - F. コミュニティカレッジ／短大 (短期大学士)
 - G. 大学 (学士号)
 - H. 大学院 (修士号または博士号)
 - I. 語学学校
2. 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。
(カッコ内記載の科目は例)
 - A. 教養学 (教育、美術、言語、文学、音楽、心理学)
 - B. 社会／法律 (国際学、法律、政治、社会学)
 - C. 会計／経営／経済
 - D. 財務／マーケティング／貿易
 - E. 科学 (農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計)
 - F. 保健 (医療、看護、薬品、公衆衛生)
 - G. 工学／建築
 - H. その他／なし
3. 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - A. フルタイム勤務者 (個人事業主を含む)
 - B. パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - C. 無職 (質問 6 へ)
 - D. 全日制学生 (質問 6 へ)

4. 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
 01. 農業／漁業／林業／鉱業
 02. 建築／ビル設計
 03. 製造 - 食品
 04. 製造 - 薬品
 05. 製造 - 化学
 06. 製造 - 繊維／紙
 07. 製造 - 石油／原油／ゴム
 08. 製造 - 鋼鉄／その他金属
 09. 製造 - 機械／精密機械
 10. 製造 - 電機
 11. 製造 - 自動車 (あらゆる輸送手段を含む)
 12. 製造 - セメント／ガラス
 13. 製造 - 衣服
 14. 製造 - その他
 15. サービス - 教育 (高校レベル以下)
 16. サービス - 教育 (短大・カレッジ以上、評価、研究)
 17. サービス - 裁判／法規／地方／県
 18. サービス - 外務
 19. サービス - 軍隊／自衛隊
 20. サービス - 保健／病院／医療研究
 21. サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
 22. サービス - その他
 23. 公共事業 (電気／水)
 24. 放送／マスメディア
 25. 通信
 26. 小売／卸売
 27. 商社
 28. 会計／銀行／財務／セキュリティ
 29. 保険
 30. 不動産
 31. 運輸
 32. その他
5. 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。
(カッコ内記載の職種は例)
 - A. 経営者 (役員、管理職、理事)
 - B. 科学／技術専門職 (エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者)
 - C. 教師／講師
 - D. 専門職 (会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士)

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
I. その他

セクション II.
英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
A. 4 年以下
B. 4～6 年
C. 6～10 年
D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
A. リスニング
B. リーディング
C. スピーキング
D. ライティング
E. リスニング&スピーキング
F. リーディング&ライティング
G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
A. なし
B. 1～10%
C. 11～20%
D. 21～50%
E. 51～100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
A. リスニング
B. リーディング
C. スピーキング
D. ライティング
E. リスニング&スピーキング
F. リーディング&ライティング
G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
A. ほとんどない
B. あまりない
C. 時々
D. 頻繁にある
E. ほぼ常時

11. 英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。
A. なし（質問 13 へ）
B. 6 カ月未満
C. 6 カ月～12 カ月
D. 1 年～2 年
E. 2 年超～

12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
B. 英語学習プログラム参加のため
C. 旅行のため（仕事に無関係）
D. 仕事のため
E. その他

セクション III.

TOEIC® L&R 受験回数

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC® L&R を受験しましたか。
A. なし
B. 1 回
C. 2 回
D. 3 回以上
14. 今回の TOEIC® L&R の主な受験目的は何ですか。
A. 就職活動のため
B. 昇進・昇格のため
C. 英語学習プログラムの結果を測るため
D. 将来の学習ニーズを知るため
E. 学習中のコース卒業のため

資料 B

各設問の回答率

	回答数	回答率
バックグラウンドアンケートの対象者総合計	3,229,884	.
学歴	2,364,227	73%
専攻科目	2,149,984	67%
就業状況	2,322,547	72%
業種	763,170	90%
職種	680,883	80%
英語学習期間	2,002,780	62%
最も重要視する言語技能	1,990,875	62%
日常生活での英語使用率	1,992,475	62%
最も使用する英語技能	1,963,413	61%
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	1,970,277	61%
英語圏滞在期間	1,960,118	61%
英語圏滞在目的	571,217	98%
TOEIC L&R 受験回数	2,141,058	66%
TOEIC L&R 受験目的	2,074,933	64%

*注：業種と職種に関する設問については、就業状況に関する設問で「パートタイム勤務」または「フルタイム勤務」と回答した 852,594 名を対象として回答率を計算しています。英語圏滞在目的に関する設問については英語圏滞在期間に関する設問で「なし」以外の回答をした 581,787 名を対象として回答率を計算しています。

資料 C

地域別リスニングとリーディングスコアの相関

地域	相関値
アフリカ	0.88
アジア	0.84
ヨーロッパ	0.89
北米	0.92
南米	0.90



+



www.ets.org